第3号様式（その3）

工場又は事業場の名称	東日本製造所〔船橋地区〕

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（1）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
56	21	23	33						

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

当社は昭和52年に環境保全等の点から塗装施設に脱臭炉を設置し、揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制に努めている。
その結果、揮発性有機化合物濃度は低位に抑えることができており、これに加え作業面での蓋閉めの徹底等も実施してきた。
また、平成16年に一部施設の脱臭炉の更新、平成19年には増設により揮発性有機化合物濃度は100ppm以下となっており、排出量はゼロに近い値である。
従って、設備的には能力限界のところまできており、今後、設備の保守点検及び維持管理に努めることで揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制を図っていく。